

令和 2年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input checked="" type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	岩崎、持田
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3781
事務事業名	4338 消防機械力整備事業						
所 属	450100 消防本部・消防本部・消防署						
施 策	03021400 消防・救急体制の充実						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	090101 消防費・消防費・常備消防費					
	事業	970000 消防機械力整備事業					
事業目的				事業概要・効果			
消防車両及び資機材等の計画的な整備・更新を行い、消防力の充実強化を図る				経年機能低下する消防車両・資機材等の更新及び充実強化			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
ポンプ2号車の更新	化学車（平成7年購入）の更新 水槽車（平成8年購入）の更新 はしご車性能検査
平成29年度 実績	平成30年度 実績
高圧空気充填機 水槽付消防ポンプ車の更新	救急3号車の更新
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
救急1号車の更新	予定なし

指標名	なし					
算式	-					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由	-					
最終年度目標の根拠	-					
指標名						
算式	-					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式	-					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		36,622	0
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	24,400	0
	その他	0	0
一般財源		12,222	0
人員数(人)	正規職員	0.5	0.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	3,632.5	2,906.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,632.5	2,906.0
市民一人当たりの経費		0.8	0.1
総額		40,254.5	2,906.0

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	36,622	手数料60、保険料9、車両購入費(救急3号車)36,520、重量税33

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	消防機械力を更新し、消防力の向上に重要 消防力の整備指針に基づいた整備更新	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	経年劣化により性能低下する車両を更新し、消防力の維持向上	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	充当率が有利な事業債を活用し、財源確保に努めた	

振り返り（決算年度の取組み課題）

最新型の機器や車両を導入し、より高度な消防・救急救助活動に努め、質の高い住民サービスを提供
財源確保のため、有利な補助事業等の知識を深め、活用するための情報収集に努める

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>安心安全な地域づくりには不可欠な消防車両の更新は、質の高い住民サービスの提供の維持につながることから、実施計画に基づいて車両の更新を継続していく。</p>		<p>今後も、更新計画に基づき車両更新整備を継続して行い、消防力の充実強化を図り、住民の安全、安心を確保する。 (本年度は車両の更新なし)</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	